

こども英語講師養成科

企業実習について

概要

実習期間：約3ヶ月（6ヶ月コースの後半3ヶ月）

実習時間：1日6時間実習（開始時間や曜日は、実習先によります）

実習先企業：こども英語を中心とした教育業界

例）インターナショナルプリスクール（英語保育）、こども英会話スクール、幼児教育施設、英語学童

実習内容：レッスンサポート（見学、授業補助、授業準備、片付け、ランチサポート）

スクール業務サポート（教材準備、資料作成、イベント準備、送迎補助、清掃、広報）

※各自の内容は、実習先や実習時期により変わります

実習先が決まるまでの流れ

1ヶ月目

- ・実習ガイダンス・・・実習の目的を理解
- ・実習先一覧表の配布・・・受け入れ先となる企業の具体的な名称や住所、業務内容を知る
各社ホームページや過去の実習生レポートを参考に各自の希望先を絞り込む
- ・マッチング・・・コスモスタッフと個別面談をして、第1希望先を確定
- ・志望動機作成・・・ジョブカード（履歴書）を活用し、第1希望先の志望動機を作成

2～3ヶ月目

- ・希望先へジョブカード（履歴書）の送付
- ・希望した実習先の担当者による書類選考
- ・書類選考通過後、実習先企業にて担当者と面接
→面接通過後、企業実習先として確定
→面接後、受入不可の場合、分かり次第すぐに次の実習先の検討を開始
- ・その他、企業実習書類作成 等



企業実習先は多様なので“実習中に何を経験できるか”は、各自によって変わってきます。どの実習先に行っても、どんな経験も“貴重な財産”になります。

この3ヶ月の実習を通して「現時点での自分に出来る事（＝企業に貢献できる事）」を自分の強みとして認識し、「不足しているスキルや経験」を今後の課題として捉え、就職活動に活かしてください。

こども英語業界の理解が深まり、自身の成長も実感できる事 間違いなしです！

実習を通して学べる事(例)

各スクール内で行われる英語レッスン業務（年齢別、習熟度、年間スクール行事、1日のレッスンの流れ）

講師の業務範囲（レッスン前準備、子の特性に応じた対応、講師間の情報共有、クラスコントロール）

講師の雇用状況（雇用形態、勤務時間、スクール内組織、職種、職掌）

保護者対応（保護者からの要求、クレーム対応、連絡や伝達の方法、送迎時サポート、子どもの成長の共有）

子どもへの対応（ルーティンワークの声掛け、室内遊び、公園遊び、食事補助、オムツ替え、危険予知）

自分のスキル（英語力、トラブル対応力、習得力、前職での経験値、問題解決力、健康管理、保育スキル）

実習生からの感想

- ・外国人講師が主導するクラスでは、日本の教育ポリシーと異なる部分があり勉強になった。
- ・1才頃から通っている子供たちの英語力の高さに驚きました。
- ・園内は All English の環境ですが、日本の園生活と同じように、雑務はたくさんあります。教材準備、教室内清掃、毎日の消毒、、、。英語力だけでなく、保育の知識や体力も必要でした。
- ・学童期の子ども（小学生）対応だったので、決まったルールを守らない子への注意や声掛け、指示に従わない子、会話をしてくれない子など、ギャングエイジの現実を知りました。
- ・これまで子どもと接した事が無かったので、全てが未知でしたが、分からない事は先生やスタッフに聞けば何でも優しく教えてくれたので、3ヶ月を楽しく乗り切る事ができました。
- ・アットホームな園で和気あいあいとした職場でしたが、実習生の受入に慣れていないのか、指示をされる事が少なく、状況を見て自分から仕事をもらいました。その分、やりがいに繋がりました。
- ・100人近くいる生徒の名前を覚えるのに必死でしたが、3ヶ月の実習が終わる頃には子供たちがみんな懐いてくれて本当にかわいかったです。今後も子ども達と関わる仕事をしたいと思います。
- ・まったくの未経験分野への挑戦で、貢献できる事など無いと思っていたが、自身のPCスキルが役に立ちとても感謝された。
- ・想像以上に体力が必要です！子供たちは全力で向かって来ます。私は、足と腰を痛めました。
- ・英語の実力も経験も、まだまだ足りないけど、子どもに関わる仕事がしたいと、強く思っています。
- ・業務内容は魅力ですが、雇用形態が自分の希望と合わない為、今は別の職を目指す事にしました。
- ・いつかは自分の教室を持ちたいと思っていたけど、教室運営の大変さを知り、自分は教務（レッスン）に集中したい為、パート講師が向いていると気づきました。

